

## 新規導入のデータベースご紹介



### 最新看護索引|Web

図書館で所蔵しています雑誌『日本看護学会論文集』（各編：看護総合、母性看護、精神看護、地域看護、看護教育、成人看護Ⅰ・Ⅱ、老年看護、小児看護、看護管理）は、第42回（2012年）より紙媒体での発行はなくなり、電子媒体のみとなりました。

電子媒体でのご利用は、新規導入しましたデータベース「最新看護索引 Web」からできます。下記 URL よりご利用ください。同時アクセス数は「3」です。

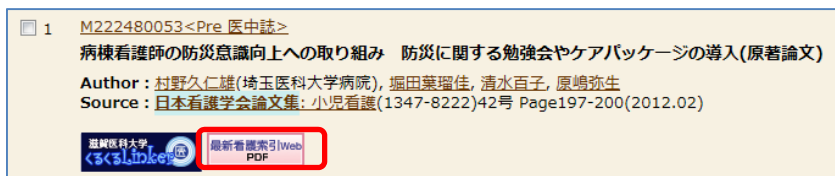
<https://www.libraryplus.jp/bcs/li/>

- 学外からアクセスする場合は、VPN 接続の上、ご利用ください。
- 「最新看護検索 Web」とは：日本看護協会がデータ作成する、看護分野に限定した文献検索データベースです。なお、日本看護協会会員の方は、協会ホームページより無料でご利用できます。

「医中誌 Web」と「最新看護検索 Web」には、相互リンクアイコンが表示されます。医中誌 Web を検索し、日本看護学会論文集フルテキストをご利用する場合、下記の手順となります。

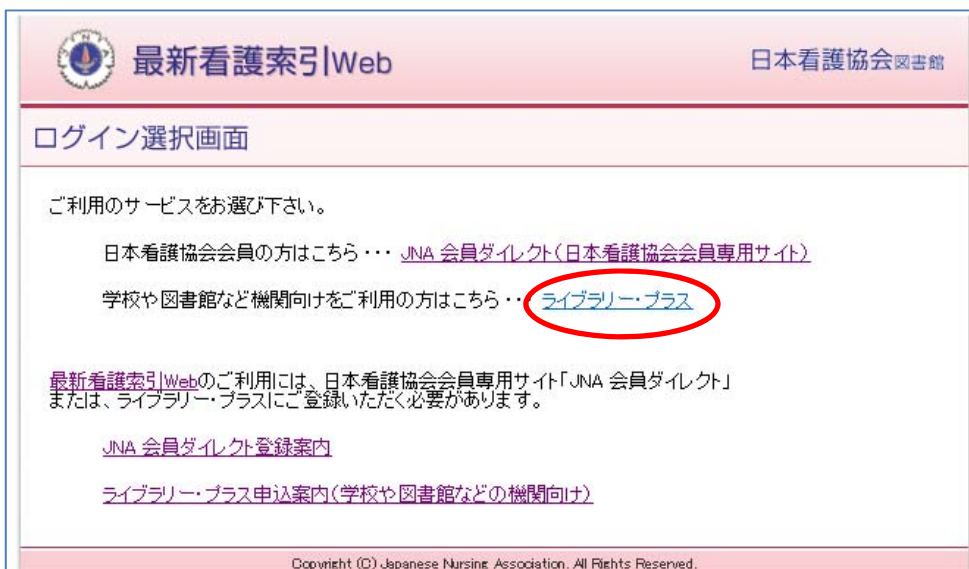
### 医中誌 Web から日本看護学会論文集フルテキストの利用について

1. 医中誌 Web 検索結果に「最新看護索引 Web PDF」アイコンが表示される。



1 M222480053<Pre 医中誌>  
病棟看護師の防災意識向上への取り組み 防災に関する勉強会やケアパッケージの導入(原著論文)  
Author: 村野久仁雄(埼玉医科大学病院), 堀田葉瑠佳, 清水百子, 原嶋弥生  
Source: 日本看護学会論文集: 小児看護(1347-8222)42号 Page197-200(2012.02)

2. アイコンをクリックすると、「最新看護索引 Web」のログイン選択画面が表示されるので、「ライブラリー・プラス」をクリックする。



最新看護索引|Web 日本看護協会図書館

### ログイン選択画面

ご利用のサービスをお選び下さい。

日本看護協会会員の方はこちら・・・ [JNA 会員ダイレクト\(日本看護協会会員専用サイト\)](#)

学校や図書館など機関向けをご利用の方はこちら・・・ [ライブラリー・プラス](#)

最新看護索引|Webのご利用には、日本看護協会会員専用サイト「JNA 会員ダイレクト」または、ライブラリー・プラスにご登録いただく必要があります。

[JNA 会員ダイレクト登録案内](#)

[ライブラリー・プラス申込案内\(学校や図書館などの機関向け\)](#)

Copyright (C) Japanese Nursing Association. All Rights Reserved.

3. 医中誌 Web で検索した該当文献データが表示されるので、「最新看護索引 Web PDF」アイコンをクリックする。

最新看護索引 Web 日本看護協会図書館

検索結果 > 検索TOPへ > フォルダを見る

文献No : 1104371

検索結果 1件

全項目 を 新しいデータ の順に 100 件ずつ 表示

チェックした文献のみ表示 チェックした文献のフォルダ保存 →条件を変えて検索

1 【標題】病棟看護師の防災意識向上への取り組み、防災に関する勉強会やケアパッケージの導入  
 【著者】村野久仁雄 [ほか(むらのくにお)] [埼玉医科大学病院]  
 【雑誌名】日本看護学会論文集 小児看護(1347-8222)  
 【巻(号)】142  
 【ページ】p197-200  
 【発行年月】2012.2  
 【参考文献数】5  
 【分類】日本看護学会ほか  
 【件名(キーワード)】病棟看護師/防災/知識/意識/研修/アンケート調査/避難訓練  
 【記事区分】実践  
 【文献No】Erel1104371new

最新看護索引 Web PDF 医中誌

チェックした文献のみ表示 チェックした文献のフォルダ保存 →条件を変えて検索

4. 該当論文のフルテキストが PDF で表示される。印刷およびファイル保存ができる。

http://www.libraryplus.jp/bcs/ct/kangosakuin/cgi-bin/PdfLinkSubWindow.cgi?1104371.pdf...  
 http://www.libraryplus.jp/bcs/ct/kangosakuin/cgi-bin/PdfLinkSubWindow.cgi?1104371.pdf&rm=default&sid=

第 42 回 (平成 23 年度) 日本看護学会論文集 小児看護 2012 年

53  
 病棟看護師の防災意識向上への取り組み  
 —— 防災に関する勉強会やケアパッケージの導入 ——

村野久仁雄<sup>1)</sup>・堀田葉瑠佳<sup>1)</sup>・清水百子<sup>1)</sup>・原嶋弥生<sup>1)</sup>

key word : 小児病棟, 防災意識, 防災知識, ケアパッケージ

I. はじめに

地震や火災など災害はいつ起こるか分からない。村野らは「勤務中に災害が発生した場合に自分ができる役割を担い、何をすべきなのかを看護師全員が理解している必要がある」と述べている。A 病棟小児病棟では、毎年災害に備え避難訓練を行っているが、参加者は勤務の都合上 3 割前後である。訓練も役割分担しているため全体像を把握することは難しい。入院患者は小児内科や外科、耳鼻科や形成外科など多様な状況に精神的不安の

村野らは、奥野ら<sup>2)</sup>が作成した防災に対する看護師の意識や知識の変化に対する調査票を元に、病棟の特殊性を踏まえ一部変更し作成した。アンケートは無記名で留め置き法とした。質問項目は、防災に対する意識 (4 項目)・病棟や物品の把握 (13 項目)・防災の知識 (8 項目)・実際の場における自信 (8 項目)である。4 段階評価とし、4 点 (知っている・自信がある)、3 点 (大体知っている・大体自信がある)、2 点 (少し知っている・少し自信がある)、1 点 (知らない・自信がない) で回答してもらい点数化した。

アンケートを元に勉強会を企画・実施。役割分担を提示、およびケアパッケージの作成は、日勤看護師の役割を例に挙げ、災

PDF ファイル保存 印刷

1 / 4

防災に関する勉強会やケアパッケージの導入により、病棟 研究前後のアンケートは無記名とし不利益が生じないこと。